

岩国市及び和木町内における住宅用火災警報器の奏功事例

発生時間	建物種類	出火原因	概要等
15時35分頃	アパート・マンション等	子どもの火遊び	5階建ての共同住宅1階の部屋にいた男性が、窓の外から住宅用火災警報器の鳴動音を聞き、同じ建物2階の窓から黒煙が出ているのを発見した。同人は直ちに現場に駆けつけ、隣人と協力して水バケツで消火した。火遊びをしていた子どもが、気道熱傷(中等症)を負った。
0時40分頃	アパート・マンション等	たばこの火の不始末	居住者が吸っていたたばこを灰皿に置いたまま居眠りしたため、火のついたたばこが絨毯に落下、出火したもので住宅用火災警報器の鳴動音で気づき、初期消火を行わず避難し隣人に通報を依頼したもの。
20時16分頃	長屋	コンロの火の消し忘れ	居住者がテーブルコンロ上の鍋に火をかけたまま外出したため、鍋の中身が焦げ煙が発生したもので、居間に設置していた住宅用火災警報器が感知し鳴動した。その音に気付いた隣人が屋外に設置されたプロパンガスのバルブを閉じた後に通報があったもの。
17時10分頃	アパート・マンション等	コンロの火の消し忘れ	居住者がテーブルコンロ上の鍋に火をつけ、その事を忘れてお風呂に入っていたところ住宅用火災警報器の鳴動音がした。風呂場から出てみると、部屋の中に煙が充満し鍋から煙が出ていた。すぐに火を止め鍋に水を入れて流しに置き道路向かいの娘宅に知らせに行き、娘が通報したもの。